

## 補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等				
補助金の名称	施設補修事業	No.	41	
予算事業名	民間保育所運営助成事業			
予算科目	款 03民生費	項 02児童福祉費	目 02児童措置費	
	節 19負担金補助及び交付金	細々節 06施設補修費補助		
部課名	健康福祉部子育て支援課	電話番号	049-251-2711	内線 344

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則		
	要綱	富士見市民間保育所補助金交付要綱	
	その他		
開始年度	昭和 54 年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費の補助	

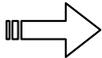
補助金の概要	
<b>目的</b> (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	保育所施設の補修にかかる経費の一部を助成し、保育環境の改善を図ることを目的とする。
<b>導入の経緯</b> (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	老朽化した施設の補修には多額の費用がかかるが、国が定める保育単価が低いため、民間保育所の運営状況は厳しく、自助努力だけでは施設を維持するのが困難な状況であったため、本補助制度を導入した。
<b>対象資格</b> (対象資格はどのようなものか。)	設置後5年を経過した民間保育所
<b>交付内容等</b> (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	補修に要した経費の1/2の範囲内 (上限：年額400,000円)  交付時の確認資料…工事見積書及び工事箇所の写真等
<b>積算基礎</b> (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 1,200 千円  1箇所年額400,000円×3箇所

補助割合等	
補助割合等の明示	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 定額 ) <input type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位: 件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	2件	2件	3件	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	800,000	800,000	1,200,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	800,000	800,000	1,200,000
概算人件費(B)	7,101	7,122	10,683	
概算補助事業費(A+B)	807,101	807,122	1,210,683	
実績報告の確認 (実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	工事の完了報告書及び工事費用の領収書で確認			

事業環境等	
見直しの有無	<input type="checkbox"/> 有 ( 年度 ) <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直し内容 無⇒見直さない理由	保育環境を維持するため、施設の補修は定期的に行わなければならない、待機児童が解消されていない間は民間保育所の利用が必要不可欠であるため現状とおりとした。

廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)	市内には築30年前後の老朽化した施設があり、定期的な補修をしなければ保育環境が著しく悪化することが予測される。
---	---

評価			
評価項目		判断理由	評価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	老朽化した施設の補修には多額の費用が掛かり、公立保育所でも平均年間70万円程度の修繕を行っている。法人の自助努力だけでは困難であるため、保育環境を維持する為には必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	待機児童が解消されない間は、現在の施設を使用せざるを得ない状況であるため、施設の延命の為には必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	ほぼ毎年、施設の改修が行われており、保育環境の改善が図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	廃止した場合、設備の老朽化が進み、保育環境の悪化が懸念され、継続することで目的が達成される。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ <span style="background-color: #e0f0ff; padding: 2px;">      </span> 年度まで）		
所属長評価	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		
所属長評価	施設の老朽化が進むため、市全体の保育需要を鑑みながら、再検討していく必要がある。		